

丸亀市民吹奏楽団
第32回定期演奏会

32th

12/11 (SUN)

丸亀市民会館大ホール

★主催★ 丸亀市民吹奏楽団
★後援★ 丸亀市 丸亀市教育委員会
丸亀市文化協会 四国新聞社
西日本放送 中讃テレビ (順不同)

祝 辞

丸亀市長 新井 哲二

師走を迎え何かと心せわしい季節になりましたが、本日「丸亀市民吹奏楽団第32回定期演奏会」が華やかに開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

丸亀市民吹奏楽団は、音楽をこよなく愛する市民の皆様が自発的に集まり、昭和58年に結成されて以来、より音楽性の高い吹奏楽を目指して練習を重ねられ、さまざまな舞台上で演奏を披露されておられます。このように、楽団の皆様には、平素より吹奏楽の演奏を通じて地域文化の振興にご貢献いただくとともに、市が実施するさまざまな文化事業にご協力いただいていることに対し、この場をお借りして、厚く感謝申し上げますとともに、深く敬意を表したいと存じます。

心の豊かさが求められる今日、わたしは、まちづくりにおいても芸術文化はもっとも大切なもののひとつであると認識しており、今後とも重要な行政課題として文化振興を図ってまいりたいと考えております。

さて、聞くところによりますと、今回の演奏会は2部構成になっており、第1部では皆様にもおなじみのドヴォルザーク作曲交響曲第9番「新世界より」全楽章を演奏していただけるようであります。また、第2部では、ファンファーレやマーチなど、吹奏楽ならではの音楽が披露されるようであります。吹奏楽の魅力を存分にお楽しみいただければ幸いです。

最後になりましたが、丸亀市民吹奏楽団のますますのご発展と、楽団員の皆様ならびに本日ご来場の皆様のご多幸、ご健勝を心よりご祈念申し上げまして、お祝いのごあいさついたします。

ごあいさつ

丸亀市民吹奏楽団 会長 大西 昌平

本日はお忙しい中、私達丸亀市民吹奏楽団の第32回定期演奏会においでいただき誠にありがとうございます。

今年は夏が長くて秋が短く一気に冬の到来となりました。皆様お元気でようこそいらっしゃいました。

丸亀市民吹奏楽団は、結成以来20年を過ぎ、より音楽性の高い吹奏楽を目指して、毎週水曜日と土曜日の夜練習を重ねています。

また、団独自の行事としては、中・高生の吹奏楽コンクールに向けてのクリニックを実施、その他には丸亀市や各種団体が行う行事にも積極的に参加するなどして、多くの市民の方々に親しまれ、愛されるように一生懸命頑張っています。

今回の演奏会も2部構成で、第1部では交響楽では皆様よくご存知の、ドヴォルザーク最後の交響曲、「新世界より」の全楽章を吹奏楽にアレンジして、山崎盾之常任指揮者により演奏、第2部では皆様がよくご存知の映画音楽を中心に色々なジャンルの楽しめる曲を特集してお送りいたします。

団員一同、日ごろのご支援に感謝の意をこめて演奏いたしますので、どうぞ最後までごゆっくりとお楽しみください。

後になりましたが、丸亀市をはじめ、本日の演奏会のためにご支援ご協力をいただきました方々に深く感謝いたしますと共に、今後とも変わらないご厚情を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Profile

山崎 盾之 〈丸亀市民吹奏楽団 常任指揮者〉

観音寺第一高校卒業後、奈良ドリームランド音楽隊に所属。その後、愛媛大学教育学部特設音楽科に入学。在学中2年間東京芸術大学音楽部に委託生として国内留学。卒業後、坂出高校、三本松高校、丸亀城西高校、坂出高校教諭を歴任。H17.3退職。

佐倉友章、喜田 賦、黒木 篁、千葉国夫の各氏に師事。高松交響楽団第53回と第62回の定期演奏会でモーツァルトの「クラリネット協奏曲」を共演。ソロ、室内楽など、各演奏会にも多数出演。

著書・「愛媛、香川のわらべ歌」（柳原書店）

中嶋 慎司

丸亀東中学校で吹奏楽（トランペット）をはじめ、丸亀高校吹奏楽部・広島大学吹奏楽団では学生指揮も担当。
現在、高松西高校教諭。

逢坂 賢司 〈丸亀市民吹奏楽団 指揮者〉

付属高松中学校で吹奏楽をはじめ、丸亀高校吹奏楽部、神戸大学交響楽団で学生指揮を担当。

中井 今日子 〈FM香川〉

19??年9月29日生まれ 天秤座の前向きなB型
担当番組

786 SUPER MEDIO（毎週金曜7：30～8：55）

勝手にシネマニア（毎週土曜18：00～18：15）

Program

第 1 部

指揮：山崎 盾之

A. ドヴォルザーク作曲／H. ハイNZズレー編曲

交響曲第 9 番 《新世界より》

I Adagio・Allegro molto

II Largo

III Molto vivace

IV Allegro con fuoco

Program

第 2 部

指揮：中嶋 慎司

逢坂 賢司

Fanfare and March

真島俊夫作曲

人生のメリーゴーランド

久石 譲作曲／小島里美編曲

ニュー・シネマ・パラダイス

A.Morricone, E.Moricone作曲／大島ミチル編曲

我が心のサンフランシスコ

D.Cross,G.Cory作曲／A. リード編曲

テキーラ

C.Rio作曲／明光院正人編曲

ジャパニーズ・グラフィティ X 「時代劇絵巻」

星出尚志編曲

曲目解説

交響曲第9番《新世界より》 A.ドヴォルザーク作曲／H.ハインズレー編曲

1892年9月に、ニューヨークのナショナル音楽院の院長に就任するべく渡米したドヴォルザーク（1841～1904）は、そこでの約3年にわたる生活の中で、幾つかの傑作を相次いで生み出していました。その最初の作品が、この《新世界より》と題された交響曲であり、それは1893年12月16日に、A.ザイドルの指揮するニューヨーク・フィルハーモニック協会の演奏会で初演され、予想以上の大成功を収めました。

〈第1楽章〉

アダージョで幕をあけ、変化に富んだ序奏に引き続き、雄大な自然の広がりを感じさせる第一主題と黒人霊歌のような感じの人間的なメロディが巧みに修飾され展開されてゆきます。誰の心の中にもある故郷への郷愁や子どもの頃の懐かしい自分自身、夕暮れ時に陽が沈み周りの風景が変わりゆく様を想像させながら、最後はたたみかけるように高揚して一気に興奮のまま終わります。

〈第2楽章〉

有名なラルゴで知られるこの楽章は、探るような静かな和音で始まり、耳をすましていると意表をついてイングリッシュホルンで「家路」の旋律が歌いはじめられます。のちにこの旋律以外にも幾つかの美しいメロディが登場し、ボヘミアの自然を懐かしく想う郷愁が切々と表されています。

〈第3楽章〉

三拍子の活発な曲です。リズムックで澁刺とした様子は婚礼の席でのインディアンの祝福の踊りをイメージして作ったともいわれています。

〈第4楽章〉

この楽章は、終曲にふさわしい起伏の大きいダイナミックな曲です。力強く短い序奏で始まり、途中これまでの各楽章のテーマが顔を出し、お互いにかけていながら進んで行く様は、交響曲全体の統一感が表わされています。

最後に、ドヴォルザーク自身はこの作品に次の言葉を残しています。「この曲はボヘミアへの郷愁を歌った音楽であると同時にアメリカの息吹に触れることによるのみ生まれた作品である。」

丸亀市民吹奏楽団 メンバー表

会 長	大西 昌平	常任指揮者	山崎 盾之
事務局 長	池内 道	指 揮 者	中嶋 慎司
企画委員長	兼田 修一	”	逢坂 賢司
会 計	山根 博		

Flute

栗田 京子
佐藤 志穂
松下 祐子
♪ 港 恒

Oboe

岡本 隆之
古川 里代
小林 涼子(友)

Es Clarinet

安藤 涼子(友)

Clarinet

和泉美樹代
♪ 井上 昌子
大坪 春香
香川 麻浪
笠井 麻理
高畑 直美
武田 恭典
堀上 洋子
山本 優子
横山 恭子
大西 優子(友)

Bs Clarinet

須東 昌美(友)

振付・指導

逢坂 由紀

Bassoon

光宗 房幸(友)

Saxophone

大西 絵美
鈴木 糸子
♪ 成行 豊和
乗松由以子
藤井 香里
山下 幸子

Horn

逢坂 賢司
須藤 恵美子
♪ 野田 志保
橋川 紗希
山本 美香
島 佐織(友)

Trumpet

内田 勝栄
岡部 匡嗣
♪ 小川 直美
川西 良治
中嶋 慎司
早瀬 一郎
日向 宏美
藤田 和美
横田 直之

Trombone

兼田 修一
菅 深雪
田中 一平
早川 正泰
♪ 米丸 貢

Euphonium

逢坂 由来子
♪ 久保 美希
吉永 豊

Tuba

池内 道
馬淵 博子
松本 和繁(友)

String Bass

♪ 秋山 留美子
白井 香織

Percussion

内田 俊英
♪ 大西 美智子
高塚 千鶴
中村 昌子
山根 博
横関 浩一

♪ = パートリーダー
(友) = 友情出演

一緒に
演奏
しませんか

丸亀市民吹奏楽団では管楽器、打楽器を演奏される方を募集しています。練習は毎週土曜日の夜、昭和町：今治造船隣の「丸亀市浄化センター」で行っています。定期演奏会の他、丸亀市やその他近隣市町の各種イベントにも参加しています。一度、私達と一緒に演奏してみませんか。連絡をお待ちしています。お問い合わせは事務局(池内 28-9830)、またはお近くの団員まで。(アンケートに連絡先を書いてもOKです。) ホームページ <http://homepage1.nifty.com/mcwo/>



SINCE 1983